

<研究名称>

抗SRP抗体陽性壊死性ミオパチーに対するリツキシマブの投与

<実施責任者>

脳神経内科 阿部 恵

<研究期間>

倫理審査委員会承認後

<研究の目的・意義>

抗SRP抗体陽性壊死性ミオパチーと診断した患者において、ステロイド治療抵抗性でグロブリン投与による効果も限定的と考えられることから、リツキシマブ投与により、抗SRP抗体産生を抑制することができるなど症状改善が期待できる。

<実施内容（方法）等>

リツキシマブ 375mg/m²点滴静注を1週間隔で合計4回投与する。

<実施責任者及び実施担当者>

実施責任者 脳神経内科 部長 浦 茂久

実施担当者 脳神経内科 医師 上床 尚、阿部 恵、田中 大貴

<倫理上問題になると考えられること>

リツキシマブの適応外使用であること。治療有効であった報告は複数あるが、エビデンスが確立していないこと。

<問い合わせ先>

当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ
〒070-8530

旭川市曙1条1丁目1番1号

旭川赤十字病院 脳神経内科 阿部 恵

TEL 0166-22-8111 FAX 0166-24-4648